

| 記者発表（資料配布） | | | | |
|------------------|-------------|-------------------------|------------------------|---------------|
| 月/日 (曜) | 担当課室 (室) | 電 話 | 発表者名 (担当者名) | その他の 資料配布先 |
| R6. 12/24 (火) | 土木部道路保全課 | 078(362)3524 内線 4399 | 課長 高橋篤志 (保全班主幹 近成純) | 北播磨県民局 |

県道平野三木線 ^{いわや}窟屋大橋橋梁耐震補強工事の粗雑施工について

令和5年度に完成した「県道平野三木線^{いわや}窟屋大橋橋梁耐震補強工事」について、粗雑施工が行われたとの匿名の投書があり、指摘内容について業者聞き取りや現地調査等を行ったところ、一部の鋼製受け台（ブラケット）において、不誠実な粗雑施工が確認されました。

今回の粗雑施工の結果、通常の通行に支障はありませんが、想定最大規模の地震時（レベルⅡ相当）*において、橋台からの落橋はないものの、一部鋼製受け台が壊れ、支承部に大きな段差が生じる可能性があることから、適切な対策を講じます。

※ 発生確率は低いが、設置地点で想定される設計上の最高レベルの地震動

1 工事概要

- ・工事名：令和4年度 主要地方道平野三木線 窟屋大橋橋梁耐震補強工事（2）
- ・工事場所：兵庫県三木市志染町窟屋
- ・工期：令和4年10月24日～令和5年6月30日
- ・契約金額：\94,788,100-
- ・施工業者：藤健建設株式会社（下請業者：タナカ工業株式会社）
（工事内容）既設橋梁に想定最大規模の地震において大きな段差が生じないようにするための落橋防止装置等の設置する工事

2 匿名投書の主な内容（令和5年9月12日）

- ・窟屋大橋の鋼製受け台は、工場製作時にボルト穴の位置を間違えたため、監督員に無断で穴を工場であけ直し、塗装により隠蔽して設置しており、所定の強度がない
- ・検査基準や立会検査をごまかして工事完了しており、再度、現場確認をするべき

3 粗雑施工の概要

- ① 鋼製受け台を工場製作し現場で設置する際に、施工業者のミスによる不具合が判明（一部の鋼製受け台のボルト穴が、あらかじめ設置したアンカーボルトとあわない）
- ② 施工業者は、発注者の県に報告することなく無断で修繕し、外見では分からないよう隠蔽して設置（修繕方法：穴を溶接で塞ぎ、再度穴をあけ直し、塗装で隠蔽）
- ③ 投書を受け、施工業者及び下請業者に聞き取りや現地調査等により、粗雑施工を確認（目視や打音、塗装厚調査、現地調査、部材の切断調査により箇所を特定）

粗雑施工箇所(R6. 10 末時点)：鋼製受け台9部材124か所（全44部材）

4 今後の対応

- ① 当該工事の粗雑施工が判明した鋼製受け台の取り換え等の対策実施
- ② 当該工事の施工業者及び下請業者に対する厳正な処分
- ③ 同様の鋼製受け台を設置した橋梁における緊急点検の実施（約170橋）

【参考】



位置図

山陽道

三木東IC

志染川

御坂神社

みきぼうパーク

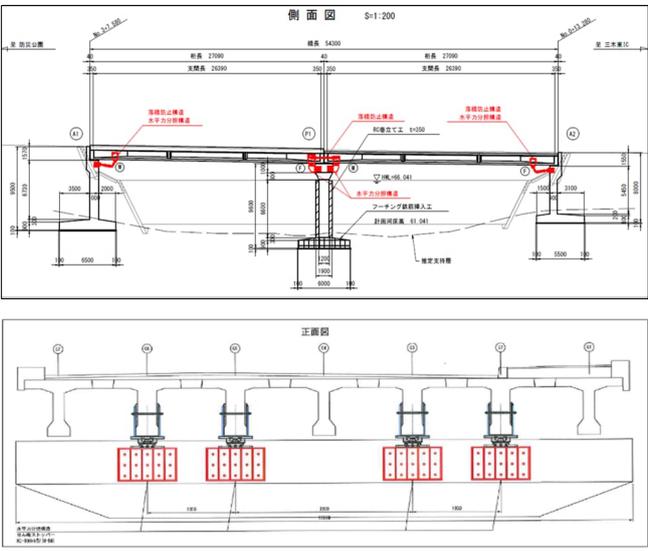
三木防災公園



写真

落橋防止・水平力分担構造

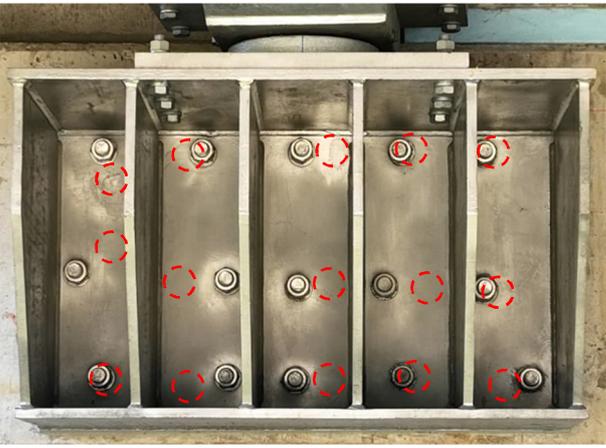
志染川



側面図 S-1/200

正面図

鋼製受け台 (○は塞いだ不正穴箇所)



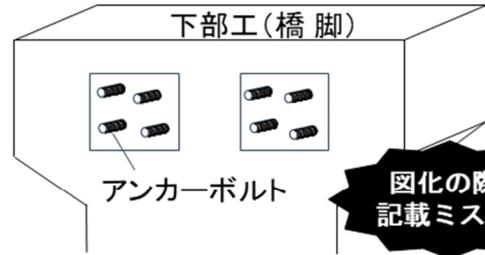
【経緯】

- | | |
|---------------|--------------------------------------|
| 令和4年10月24日 | 工事着手 |
| 令和5年4月19日 | 鋼製受け台工場検査 |
| 令和5年5月17日 | 今回事案の鋼製受け台現場搬入 |
| 令和5年5月17～25日頃 | 施工業者等が現場から持ち出し、鋼製受け台の穴あけ直し |
| 令和5年5月29日 | 今回事案の鋼製受け台を含む落橋防止装置等の設置完了 |
| 令和5年6月30日 | 工事完成 |
| 令和5年7月10日 | 完成検査 |
| 令和5年9月12日 | 匿名の投書が県庁道路保全課、加東土木事務所、姫路土木事務所に郵送され受付 |
| 令和5年9月15日 | 県が現地確認 |
| 令和5年9月29日 | 施工業者等に事実確認のヒアリング |
| 令和5年10月3日 | 施工業者等が穴あけ直しを認める |
| 令和5年11月 | 粗雑行為発生理由・過程の検証 |
| ～6年7月 | 穴あけ直し箇所を特定する調査方法の検討 |
| 令和6年8月～9月 | 鋼製受け台の膜厚調査等を行い、粗雑箇所を確認 |
| 令和6年11月～12月 | 鋼製受け台(2部材)を取り外し、溶接断面観察や各種試験等を実施 |

粗雑施工の概要イメージ図

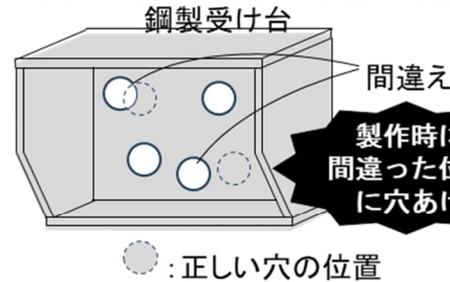
① 鋼製受け台の穴あけ 施工図の作成

- ・現地調査により、穴あけ位置を図化
- ・図化する際に記載ミス発生



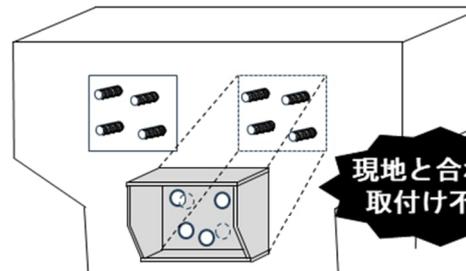
② 鋼製受け台製作 (工場)

- ・アンカーボルトにあわせた穴あけ
- ・記録ミス等で間違った位置に穴あけ (9部材/全44部材)



③ 製作した受け台の 不具合を把握

- ・鋼製受け台を現地で設置できない
→ 請負業者は穴のあけ間違いを初めて認識



④ 鋼製受け台の修繕 (県監督員に無断)

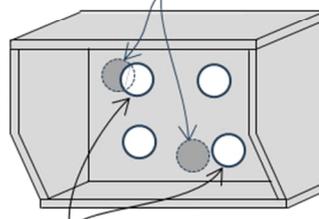
- a) 穴の位置が合わない箇所を溶接で塞ぐ

→ **強度不足**

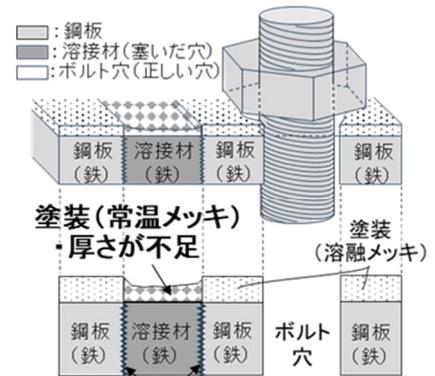
- b) 再度穴をあけ直し、簡易な塗装で隠蔽

→ **耐久性不足**

- a) 間違えた穴を塞ぐ



- b) 正しい位置にあけ直し
c) 簡易な塗装でa)b)を隠蔽



【溶接材の穴埋箇所】

- ・境目に空洞や損傷を確認
- ・鋼板と一体化していない

⑤ 鋼製受け台取付 (設置後も県に未報告)

- ・穴をあけ直した鋼製受け台を設置

